



花の形が  
扇を逆さに  
なげた形を  
している

ススウキ



クサトベラ

じょうりよくていぼく しお つよ  
常緑低木。潮に強く、  
かいがん ぜん せん  
海岸の前線にアダン  
とともによく見られ  
る。防風・防潮の役  
わり  
割をする。



パマススウキ



モンパノキ

常緑低木。幹で水中眼  
がね つく は  
鏡を作り、葉はくもり  
どめにした。魚の中毒  
げ どくざい さいし  
の解毒剤。祭祀ではお  
さら が  
皿代わりに使用。



“魔物の鏡”

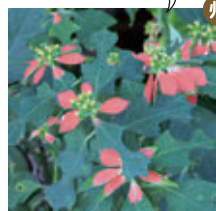
マズムヌカガム

帰



イソフジ

常緑低木。白い細かい  
け は  
毛が生えているので木  
ぜん たい あお しろ み  
全体が青白く見える。



ショウジョウソウ

多年生草本。ポイン  
セチアの仲間。  
あか いろ  
赤く色づいたのは  
はな ちゅうしん  
葉で、花は中心に  
ある。

ユーナギー



オオハマボウ

常緑高木。葉のつる  
つるした面でおにぎ  
りをにぎった。トイ  
レットペーパーにも  
使った。



タマヴギー



サキシマハマボウ

常緑高木。大きい木  
とこばしら  
は床柱に使用。小さ  
い木は車軸や馬の  
くら ばこ さんしん  
鞍、エサ箱、三線の  
さお はば ひろ  
棹など幅広く使わ  
れた。

## 用語集・植物の見分け方のコツ

いち ねんそう たね め ぼ い ない  
1年草：種から芽生えて1年以内に

枯れる草のこと

多年草：何年も花などをつける草。

球根や根が生き続けるのも含む

草本：草質のやわらかい茎を持つ植

物のこと。木部があまり発達せず木

本のように大きくならない

木本：木質の茎を持つ植物。樹皮の

内側が成長して幹が太くなり、年輪

ができる。ただし熱帯では常に成長

するので年輪はできにくい

常緑：1年中緑の葉をつける

落葉樹：冬前に全ての葉が落ちる樹木

りん えん はやし  
林縁：林のふち。林と草地などの境

界部分

先駆植物：植物が生えていない裸地

にいち早く育つ植物のこと。成長が

早く栄養が少なくても育つ

矮性：生物の一般的な大きさよりも

小形なまま成熟する性質

在来種：その土地にもともと分布(自

生)する種

外来種：外から持ち込まれた種

帰化：外から持ち込まれた種が野生

状態で繁殖すること

## 植物の見わけ方のコツ

よく  
葉っぱを観察する。



大きさ、形、色、つや、毛...

花や実はわかりやすいが  
時期が限られる。

宮古は3~5月に

花や実がよく見られる。

視線を  
重かさう!



五感で観察

- ☆ 目で見る
- ☆ 鼻でかぐ
- ☆ 手でさわる
- ☆ 耳できく
- ☆ ロで味わう



※有毒なものもあるので、必ずおとなといっしょに観察しましょう

# 来間島散策コース(海岸林)

## 海岸林の環境

砂の移動がほとんどない安定帯は、背の高い木々が育ち、海岸後背林と呼ばれます。来間島の北海岸は、断崖の斜面の広い範囲にわたって、良好な海岸後背林が発達し、宮古島の指定天然記念物(保護区)「来間島断崖の植生」(1979年指定)にもなっています。断崖付近の植生は、環境別に分けることができます。切り立った崖面を覆っているのは、約75%がガジュマルです。斜面地は、オキナワシャリンバイやオキナワトベラ、リュウキュウガキなどで覆われます。崖下は転落した岩々が目立つ肥沃な土壌で、クロヨナの群落が発達しています。

来間島散策コース(海岸林)





# 海岸林の環境で見られる植物

ゴータギー



モモタマナ

はん らくよう こうぼく か じつ  
半落葉高木。果実はオオコウモリがよく食べる。昔は実をわって中の白い部分を食べた。



ウカバギー



クロヨナ

じょうりよく ぼうふう ぼう  
常緑高木。防風・防潮として植えた。畑の肥料にした。種は油がとれる。この種も海流散布する。



スサンキギー



マルバチシャノキ

しょうこう ぼく  
落葉小高木。ざらざらした葉は、鍋などを洗うタワシにしたり、床掃除や髪をとかすのにも使用した。



ヤエヤマアオキ (ノニ)

どくどく  
常緑小高木。独特の匂いがある実は海流で散布される。最近では薬用に利用される。



ハスノハギリ

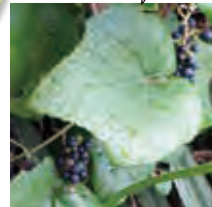
かんそう  
常緑高木。乾燥や強風に強く、防風林に適している。果実は枯れたらカラカラと音が出るので、おもちゃにした。



トゲカズラ

むくほん えだ  
常緑つる性木本。枝の太いトゲで、岩や他の樹木をはい上がる。粘着性のある果実は鳥に付着して運ばれる。

カニグギー



エビヅル

常緑つる性木本。果実は食べられる。祭祀に使用する。薬用に使った。



ヤブラン

そうほん かいりょう  
多年生草本。改良した土地の土止めとして植えられた。



オキナワ テイカカズラ

むくほん りんえん  
常緑つる性木本。林縁に生え、白い長い毛をつけた種子は風によって散布される。



サクララン

常緑つる性草本。サクラに似た半ボール状の花が垂れ下がって咲く。葉は肉厚なのが特徴。



アリマ ウマノスズクサ

常緑つる性木本。ジャコウアゲハの食草。花がサキソフォンの形をしており、鼻につけて遊んだ。



ワニグチモダマ

常緑つる性木本。種が仏具の鰐口に似ることから名がつけられた。



ホウライカガミ

常緑つる性草本～木本。小さな星のような花が特徴的。日本最大のチョウであるオオゴマダラの幼虫の食草。



# 東平安名崎散策コース(岩礁・風衝地)

距離:約1.1km 所要時間:徒歩約15分



ハチジョウススキ

保良漁港

ナガミハマナタメ

ユイカバナ

イソフサギ  
イソマツ  
イワタイゲキ  
ソナレムグラ  
ヒメキラソウ

テッポウユリ

多年生草本。東平安名崎で自生しているのが多く見られる。球根は炊いたり蒸して芋と同じように食べていた。

アサガオガラクサ

キツネノメマゴ

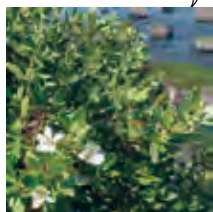
アオガンピ  
ミズガンピ

イリオモテアザミ  
クサスギカズラ  
クロイゲ  
コウライシバ  
テッポウユリ  
ナハエボシグサ

ナンゴクハマウド  
ハマゴウ  
ハリツルマサキ

ハマシタン

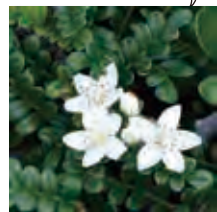
平安名崎灯台



ミズガンピ

常緑低木。昔は水中眼鏡の材料にしたり、生でも燃えるので漁師が薪に使っていた。盆栽によく使われる。

イムボーギー



テッポウユリ

沖縄県RDB:絶滅危惧Ⅱ類  
環境省RD:絶滅危惧Ⅱ類  
宮古島市保全種

常緑矮性低木。こうように生え、マット状の群落をつくる。東平安名崎では最大級の群落が見られる。盆栽用に盗掘され数が減っている。

ギスキ



葉をさわると  
他のススキ  
との違いが  
わかる!  
つつつ  
している

ハチジョウススキ

多年生草本。葉が厚くて広く、トゲがないので手を切ることはない。まとまった群落を東平安名崎で見ることができる。

踏み荒らさないように気をつけましょう

足元には、小さくて貴重な種がたくさん生えています。むやみに踏み込まないようにしましょう。

## 岩礁・風衝地の環境

宮古諸島の海岸の大部分は、波などで削られてできた崖を含む石灰岩の岩礁です。土がほとんどなく、波しぶきがかかり、台風で海が荒れると海水をまともにかぶるため、植物たちは岩のわずかな隙間に根を張り、塩分にも耐えています。また、強風が当たり続ける場所では、樹形が陸側へ撫でつけられたように変形したり、普通よりも小さく育ちます。そういった作用を風衝作用と言います。

東平安名崎は国指定の名勝としても有名です。岬の一带は亜熱帯地方の風衝地特有の植物群落が発達しています。なかには分布が限られている植物もあるため、植物群落そのものが県指定の天然記念物になっています。





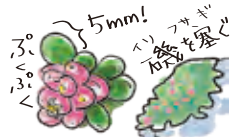
# 岩礁の環境で見られる植物

イムミズナ



イソフサギ

多年生草本。潮の  
かかる岩の割れ目  
に表面をふさぐよ  
うに生える。



ミルズベリヒコ

多年生草本。茎や葉  
は肉厚。ボロボロに  
なるまで洗い、味噌  
汁に入れたり、炒め  
たり茹でたりして  
食べた。



イソマツ

多年生草本。古株  
や大きい株は幹が  
木質化し、その質  
感が松に似ている  
ことから磯の松と  
名がついた。



モクビヤッコウ

常緑低木。全体に灰  
白色の毛が生え  
白っぽく見える。葉  
はちぎると匂いを  
放つ。



ナハエボシグサ

常緑ほふく性草本。  
赤い小さな花が咲  
く。コウライシバの  
中に混ざってよく  
見ることができる。



イワタイゲキ

多年生草本。蛍光色  
の花が特徴的。切り  
口から出る乳液は  
触るとかぶれるの  
で注意。



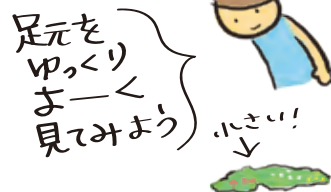
コウライシバ

多年生草本。葉のふ  
ちが巻いて、針状に  
なる。別名ビロード  
シバとも呼ばれる。

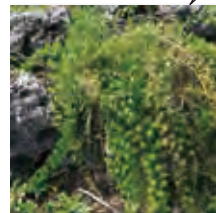


ソナレムグラ

多年生草本。波しぶ  
きをかぶるような  
場所に生える。5ミ  
リほどのとても小  
さな花が咲き、葉は  
肉厚で無毛。



パママツ



クサスギカズラ

つる性多年草。枝が  
杉の葉のように見  
える。芋のように膨  
らんだ根は生薬に  
なる。

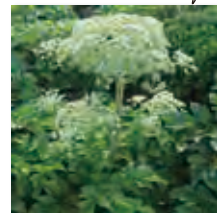
パヴギー



アオガンピ

常緑低木。紙の材  
料として皮をはい  
で乾燥させ、お金  
に変えた。

ムーナヌブーズ



ナンゴクハマウド

多年生草本。草の汁  
で魚が仮死状態に  
なるので魚捕りに  
使用していた。

ハマグムポー



イリオモテアザミ

多年生草本。根はゴ  
ボウのようにきん  
ぴらにし、若葉は天  
ぷらに。肝臓や腎臓  
の薬としても使用。

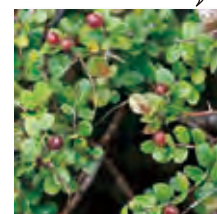
サンスウギー



ヒメキランソウ

多年生草本。地上  
を這うようにして  
広がり、地面を覆  
いつくす。花が咲  
く時期は地面が紫  
色のじゅうたんの  
ようになる。ピン  
ク色もある。

ポーギー



クロイゲ

常緑半つる性低木。  
小枝の先はとがる。  
果実は熟すと黒紫  
色になり甘く美味  
しい。子どものおや  
つになった。



マッコギー



ハリツルマサキ

常緑半つる性低  
木。クロイゲに似  
るが、葉の厚さや  
色が違う。実が  
ハート形になる。



## 人との関わり ススキ

ススキは建材をはじめ、燃料、肥料など、いろいろな物に利用される貴重な植物です。宮古では一般的に小さいススキをカヤ、大きなススキをギスキと呼び分け、それぞれに用途が違います。



ススキの穂で作ったほうき



カヤで作ったマグ

ギスキ ← 呼び分けて使っていた → カヤ

ミーギスキ

葉が幅広く高さは5mほどにもなる



ビギスキ

葉や芯は細く小さいトゲがしっかりしている



縄をなう用の細い柔らかいススキは、「ツカニ」とも言う。



棟の部分はギスキを編んでからかぶせた

屋根はギスキとカヤの両方を使用



壁はギスキを使用



宮古の昔の住居：宮古島市総合博物館内

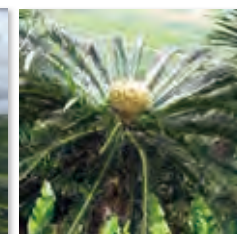
## 人との関わり ソテツ

ソテツは裸子植物と呼ばれるイチョウやマツの仲間です。日本のソテツは一種類で、日本固有種とされています。実や幹には毒があり、適切に処理をしないと中毒になったり命を落とすことがあります。食べものがない時代に毒のあ

るソテツまで食べたとして「ソテツ地獄」という言葉が知られていますが、琉球王府の時代には食糧として植林をしており、毒を抜いて食べることは日常でした。いまでも奄美地方ではソテツから味噌が作られています。



雄株

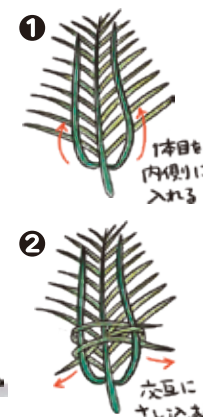
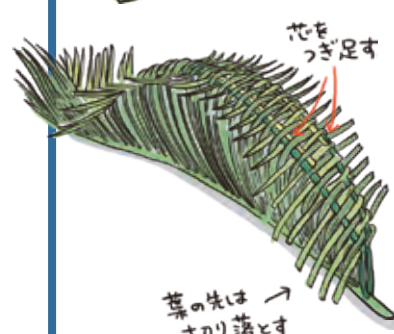


雌株

潮風や台風に強く、岩場にも生えることから、防風林や畑などの目印に使った。

葉や幹は燃えやすいので薪に使った。

虫カブのつくり方



ソテツの実

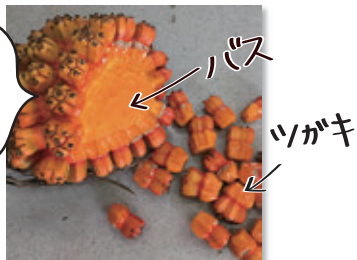
幹や実は、発酵させて毒抜きをし、おかゆや団子を作って食べた。



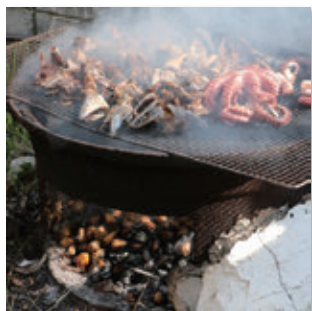
## ひと かの 人との関わり アダン

宮古では、日々の生活の様々なところにアダン  
を利用してきました。実を食べ、煮炊きの薪として  
使い、草履や縄、カゴなど農作業の道具、家の  
材料として、余すところなく使いました。

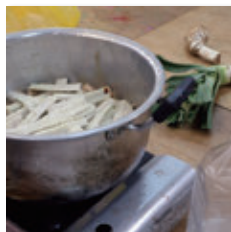
あま  
甘いのと甘く  
ないのが  
あったよ！



アダンの実



ひだね  
乾いた実は火種に使用



しんめ  
新芽やバスを調理



うみよう  
フダミ(海用ぞうり)



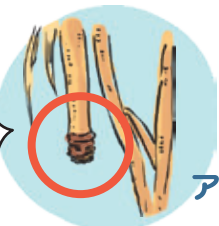
いも  
アムディア(芋用の網)や  
オウダ(もっこ)



アダナスの縄

(大きくて芯がみずみずしい)

水  
ミズアダン



アダナス

根の先に「兜」がつ  
いていて、地面につ  
いていないものを  
縄に使った。

はしら せん たくもの  
家の柱、洗濯物を  
干す柱にした

(小さくて硬い)

石  
イスアダン



か は みき  
枯れた葉・幹

ある程度濡れてい  
てもよく燃えた



イスアダンは  
なかなか腐ら  
なかった



イスアダンの  
幹で作った釣  
道具のカウ

アダンの葉  
アダンバ

ぼう し  
帽子、カゴ、ゴザなど  
なんでもつくった



かっせん たま  
合戦の弾はアダンの実

アダンバでバツタ



アダダンバで風車



アダダンバで風車

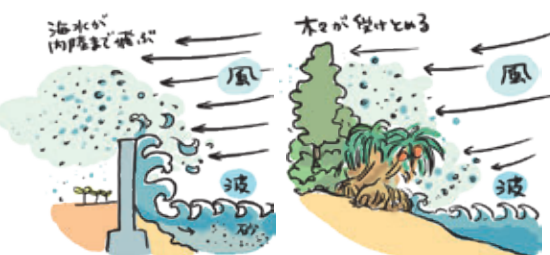


ビョウタコノキ

じょうりよくしょうこう ぼく  
常緑小高木。幹はよ  
く直立し、支柱根は  
少なめ。樹形が美し  
いので街路樹など  
に植栽される。

## かい がん てい ぼう 海岸の木々は堤防よりもすごい！？

堤防に波が当たると垂直に吹き  
上がり、風で飛ばされて内陸にまで  
塩が入り込むが、アダンなどの海岸  
林は、そういった塩の吹上や、砂の  
流出をふせぐと考えられている。





# 島尻散策コース(塩湿地)

距離:往復約900m 所要時間:徒歩約15分

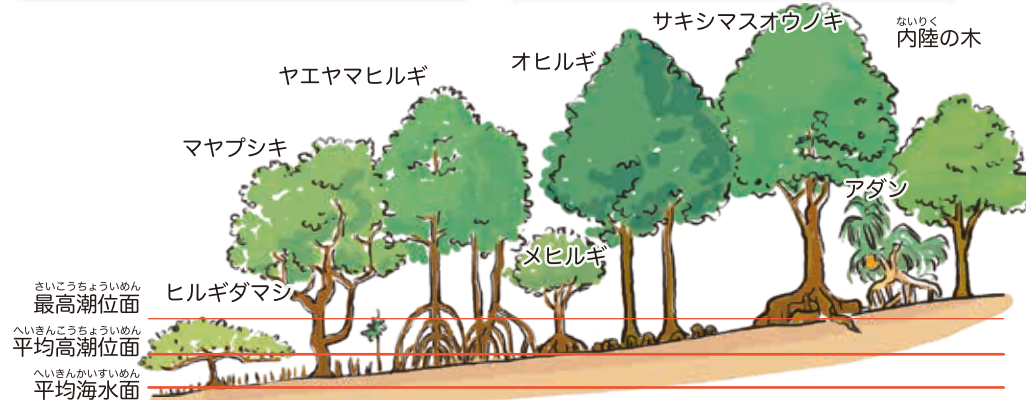


## 塩湿地の環境

塩湿地とは、満潮時に海水が入り込んでくる湿地のことで、海水と淡水が混ざりあう水域です。そのような環境に生育する植物の総称をマングローブといいます。島尻マングローブ林は、島最大の群生地で、宮古を分布の北限とするヒルギダマシを含め、ヤエヤマヒルギ、オヒルギ、メヒルギの4種を見ることがで

きます。河川ではなく、湧水から発達するマングローブ林は非常に珍しく、貴重です。島尻以外にも、伊良部島と下地島の間の入江、与那覇湾沿い、嘉手苅の入江湾に小規模な群落がみられます。現在、ヒルギダマシが観察できるのは島尻と入江湾のみです。

干潮と満潮では全然見え方がちがう！



参考：国際マングローブ生態系協会『海と生きる森－マングローブ林－』(1998)



## マングローブの見分け方

植物名	メヒルギ	アカバナヒルギ オヒルギ	ヤエヤマヒルギ シロバナヒルギ	ヒルギダマシ	ヒルギモドキ	マヤブシキ
分布	鹿児島 (かごしま) ● 奄美大島 (あまみ) ● 沖縄島 (おきなわ) ● 宮古島 (みやこ) ● 石垣島 (いしがき) ● 西表島 (いりおもて) ●	●	●	●	●	●
樹高・根	7~8m  ばんこん 板根	約10m  しつこん 膝根	約10m  しちゅうこん 支柱根	1~2m  こきゅうこん 呼吸根 (筍根)	2~10m  根は出ない	
葉・大きさ	丸い  たまごがた 卵型 約10cm	ややとがる  あつ 厚みがある 約13cm	とがる  約13cm	葉の裏は灰白色  約4~8cm	くぼむ  約3~7cm	
花・開花時期	 初夏 約10cm	 春 約13cm	 春~夏 約13cm	 夏 約4~8cm	 6~12月 約3~7cm	
果実または種子	20cm前後  すべすべ 細長い 3~4月	20cm前後  はる 春 5~6月	20cm前後  春~夏 7~8月	浮いて散布される  1.5~2.5cm 9~10月	約1.5cm  7~9月	

参考：NPO 法人おきなわ環境クラブ『おきなわ自然環境ガイドブック①—漫湖の自然と環境—』(2000)

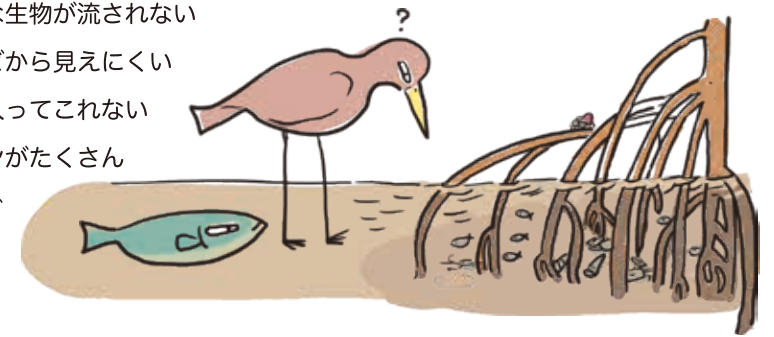
## マングローブのやくわり

- 根や幹に生えている藻類などがエサになる
- 海岸浸食の進行を防ぐ
- 畑から流れ出る赤土を受け止め、サンゴ礁をまもる
- 台風や津波の波を和らげる
- 海水に溶け込んだ二酸化炭素を吸収し、地球温暖化対策になる



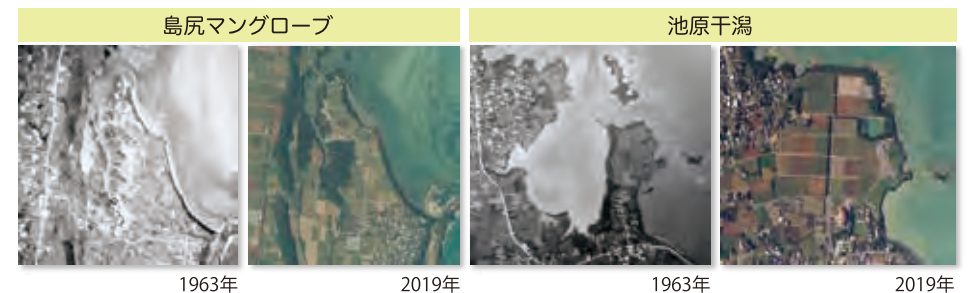
一見汚く見えるけど…  
浅くて流れがなくて澱んでいるのがいい？

- 稚魚や小さな生物が流されない
- 天敵の鳥などから見えにくい
- 大型の魚が入ってこれない
- プランクトンがたくさん
- 紫外線を防ぐ



## 島尻マングローブと池原干潟(与那覇湾)のいまむかし

国土地理院の地図を見比べると、島尻は陸地化が進んでいます。与那覇湾西側の池原干潟は1990年に埋め立てられ、全てのヒルギ類が消失しました。



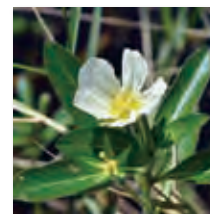
※国土地理院のウェブサイトの写真を加工して作成

# 池間湿原散策コース(陸水)

距離:約5.3km 所要時間:車で約75分



..... 1956年頃の埋め立て前のおおよその海岸線



ケミズキンバイ

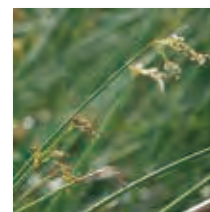
沖縄県RDB:絶滅危惧Ⅱ類  
環境省RD:絶滅危惧Ⅱ類

多年生草本。国内では沖縄県でのみ見られる希少種。茎は水上に浮かび、呼吸根と根を水中にのばす。



ヒメガマ

抽水性の多年生草本。葉で筵や蓑をつくった。子どもたちはアイスクリーマーと呼んでいた。



フトイ



根とは別の呼吸根を出すことも。浮きの役割もある。



水から飛び出ている植物をさす

茎が空洞なので...  
・空気をためて呼吸  
・浮きが変わり  
・体を支える

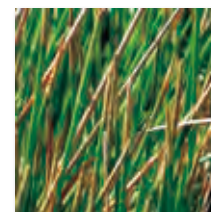


宮古でアイスクリーマーはアイスクリーマーと言う!

## 陸水の環境

淡水で生育する植物は、その総称として湿性植物や水生植物と呼ばれ、宮古では池間湿原や崎田川、ため池や湧水地周辺などの限られた場所でしか観察できません。県内最大の湿原とされる池間湿原は、もともとは海とつながっていましたが、昭和の初め頃に農地にするために干拓されました。

その後淡水化が進み、今のような環境になりました。湿原には様々な動植物が生息・生育しており、環境省の「重要湿地500」に選定されています。また、渡り鳥の貴重な休息地および繁殖地となっているため、2011(平成23)年に国指定池間鳥獣保護区に指定されています。



イヌクログワイ

抽水性の多年生草本。池間湿原で比較的に見ることができる。